

牧島保育園の運営に係る第2回三者協議会会議録

開催日時 令和4年8月31日(水) 18:30~20:05

開催場所 大坪コミュニティセンター研修室

出席者 牧島保育園保護者(保護者会)代表 他2名

社会福祉法人明志会 理事長 他2名

市子育て支援課 山口課長、佐々木室長、池田

牧島保育園 野村主任

会議内容

1 開会

2 あいさつ

山口子育て支援課長があいさつ

3 大坪保育園の施設見学

4 協議事項(議長:山口子育て支援課長兼本協議会会長)

(1) 牧島保育園の民営化後の運営に係る気付き等について

山口議長が説明

(質疑)

事務局) 新たに体育教室が始まったと思う。

法人) 6月から体育指導教室を導入し、7月から水遊びの活動を始めた。プール参観を8月3日、5日、9日の3日間予定していたが、7月から8月にかけての新型コロナ第7波の影響があり、牧島保育園でも感染が間近な危機だったので苦渋の選択ではあったが、3日と5日は実施し9日は中止した。日程を調整していた保護者から1件、2件ほど確認の電話があった。もう1つ、7月と8月にレベル3の警報級の大雨による臨時休園、または開園後の大雨で就業中にもかかわらず速やかな迎への対応をお願いする一斉メールを発信したが、その際の保護者の速やかな対応に感謝したい。そのようなことを振り返り、保護者の率直な感想や意見を聞かせてもらいたい。

保護者) 新型コロナ第7波の中で他の保育園では閉鎖や休園も聞かれたが、牧島保育園はそれを避けてもらったことと感染が広がらなかったことを非常に感謝している。保護者としては保育園に預けられないと仕事に行けない。先生方には非常に危険な中で対応してもらいたい。

法人) 常日頃、職員が子ども中心に子どもの最善の利益となる安全、安心を確保するため、保護者の仕事にもコロナや災害、大雨などでメールの発信や連絡をしたりすることがあるが、保育園として保護者の就業に差し支えない社会資源としての機能を維持したいと考えているからである。明確な閉鎖の基準はないが、陽性の届出が少しはあっている。それが一気に集中したクラス

ターでなかったことが幸いし、何とか報告を受けた中で感染状況の把握に努め、場合によっては濃厚接触者等を選定しながら、最終的には保育園を休園するまでにない判断となり今日に至る状況である。そこは本当に保護者の理解と、偶然でしかないが一気に集中しなかったことが休園せず維持できた要因だと思っている。

議 長) 昔にはなかった新型コロナや災害対応などに対し、明志会をはじめしっかりと対応した結果だし、保護者も理解し協力してくれたからだと思う。法人と保護者が良い関係なので、遠慮なくこの場でここはこうした方が良いという意見を出しながら、更に良くしていきたいと思う。

法 人) 正面玄関の郵便受けの横に意見箱を置いているので、何かあれば入れてもらいたいが、今のところ意見はゼロで推移している。つい先日、牧島保育園は園庭が広い中で、これだけ日と水分を吸収すると雑草が生い茂ってくるので、除草しなければと思っていたが、週明けの月曜日には綺麗になっていた。保護者の厚意で除草作業をしてもらい後程お礼を申し上げたが、保護者とそのような良好な関係が築けているのかなと感じている。

議 長) それでは、(1)でこのような良い関係があることが確認できたし、今後の協議の中でも思い出したことを言ってもらいたいと思う。

(2) 牧島保育園の新施設の協議状況について

佐々木室長が説明

(質疑)

議 長) 事務局からの説明のように前回の三者協議会后、7月と8月の2回市と明志会で協議を行っている。具体的には、新しい保育園の整備場所や定員などを協議し、今のところ令和7年4月を開園年度の目標に整備を進めていくことにしている。今後、具体的な基本計画の作成に入りたいが、その中に保護者の意見を可能な限り反映させたいと思っている。まずは、明志会が具体的に市や業者と協議する中で、保護者に知らせることがあればお願いしたい。

法 人) 新園舎の整備で要になるのは設計士の業者選定を進めることである。その選定にあたり新園舎をどのように考えているかの状況で話をすると、1業者の設計士と話し合いの場を設けた。今後はもう1つの設計事務所と話し合いをしたいと思っている。そのような中で協議を重ね、場合によっては資料を請求し様々なカタログを広げながらイメージしている状況であるが、概ね現時点で保護者に伝えることができることは、色々と考えたが整備場所としては現在地になる。今の園舎でギリギリまで保育しながら、道路沿いではあるが今の園庭に新園舎を建築したいと考えている。その中で1つ問題は、2～3年前に大雨で河川が増水し送迎用の道路も水浸しになる状況で、牧島コミュニティセンターに避難した経験があるので、土地を嵩上げできないか話を

していた。そこはまだ検討の余地があるが、基本は総木造ではなく鉄骨のしっかりとした建物で高床にする。もともとの土地を上げるのか、鉄骨の高床で建物を整備するかは費用との相談になるが、鉄骨造の高床にすると別の場所に避難する必要はなく、地域の避難場所として利活用できる施設として建てることできる。もう1つは、前年度の三者協議会の中で、道路側に整備したい私の考えを提案した時に、保護者から建物が道路側により近くなり園舎に大型車が突っ込む心配や不安の声があったが、設計士と話す中で、それは逆で今が一番危険だと言われた。ブランコなどの遊具があり、子ども達は天気良ければ園庭でかなり遊んでいるが、すぐ横が法面で高くなった道路を大型車が頻繁に行き来する中で、もし不測の事態になればそのままガードレールを超えて保育園に来るので今の方がリスクは高い。道路側に建物を建てることで、不測の事態には、園舎にぶつかっても受け応えられるよう頑丈に設計した方が良く設計士から提案をもらうなど得るものがあった。前年度は保護者も私も素人同士の意見で提案し、心配や不安という中で、設計士を交え改めて話をするとそうではないと知見を広められ良かったと思う。また、登降園時の送り迎えの不審者対策も必要である。

法人) 入口を一つにすることで、外部からの侵入を防ぎ見守りができる安全面から海外では保育園や学校は園舎の後に園庭を造るのがスタンダードであると聞いた。設計に入る前の意見交換の場であったが、私達の様々な思いに提案をもらい、ただ上げるだけでなく、園舎の出入りもしっかりと考えたり、その上げた下をどのように活用できるかまだアイデアの段階だが、保育専門業者の中にある設計部門で多くの園舎を建てた設計士なので、色々な話を聞かせてもらいとても勉強になった。もう1つの業者も多くの保育園を手掛けているのでそこでまた気付きをもらい、そこに皆の意見を出し良い園舎造りをしていきたいと思う。

法人) 新園舎の整備においては、色々な側面があるが大きく言うと、災害時などに強い建物と不審者対策の2つになる。入口は1か所でその奥に保育室を置く、それが壁に遮られるのではなく、オープンスペースで見渡せるような造り、その中でしっかりとした鉄骨造で中に木材など乳幼児の子どもに優しい温かみのあるものを多く使いたいと思う。土地を60cm、場合によっては1m上げるとそれだけでかなりの費用がかかるのであれば、しっかりとした支柱、鉄骨による高床にしてはどうかと考えている。あとは、出入口は1つにしながらも、エントランスの周り保育室が連動できることを考えている。今、話をしているのは様々な保育の遊具やそれを管理する業者が保育の業種として特化し保育園を建てることに関するため設計事務所を構え、関東、東海、九州の営業所で設計士をそれぞれ抱え様々な保育園を手掛けている業者である。

- 法人) その業者は実際に幼稚園を運営し保育をする中で、研究を重ねている。
- 法人) 本社が福井にあり、県内では佐賀店の設計士が武雄市若木の大楠の里子ども園、佐賀市富士町の北部保育園を手掛けている。今日見学した大坪保育園の乳児室には床暖房があり、新たな施設に床暖房がほしいなどピンポイントでも良いが、何か要望があれば伝えてもらいたい。
- 保護者) 床暖房はすごく良いと思った。
- 法人) 具体的な話は初めて伝えているし、今日を契機に登降園時などに新園舎への思いを伝えてもらいたいと思う。それを受け、新たな施設の設計をイメージしたい。
- 法人) 日当たりも心配されていたが、南向きだと夏場はすごく暑くて今は外での活動ができない問題がある。これからもこの夏の暑さが納まることはなく、冬場の寒さより夏の暑さが体にこたえるので、逆に南向きにこだわらない方が良いという提案もあった。
- 議長) 早く画が描けて、このような感じだと示すことができればイメージが膨らむだろうが、基本設計までに定員など様々な条件を決めないと画が描けない。その基本設計に、床暖房など様々なものを盛り込まないと画が描けないので、何か思いついたことや大坪保育園を見て良かった点などあると思うので、遠慮なく意見を言ってもらいたい。
- 法人) 様々な施設を考えていて、例えば保育士の休息できる環境や保護者の子育てを支援するための相談室を設けたいと思っている。また、園児の共用スペースのトイレや手洗いなどの水回りなども大事だと思っている。その施設整備におけるキーワードは子ども達が見える目線、見える化だと思っている、敷居を低くしたり、アクリル板等透明な素材にするなど細部にこだわりそれを具現化できる設計士に決めたいと思っている。重ねてになるが、保護者にはこのような機会だからこそ、毎日の送迎時にでも意見をもらいたい。
- 議長) 暑い夏や寒い冬、雨の日の送迎時にどのような動線で教室に行くなど様々なことを想像すると、このようにしてほしいというのが出てくると思う。子どもと保護者が使いやすく、職員も働きやすい保育園にしたいと思うので、小さなことでも構わないので伝えてもらおうと参考になる。他に今日の大坪保育園を見ての感想などはないか。
- 保護者) 新しい牧島保育園には講堂を造るのか。
- 法人) お遊戯会ができるステージを設けた遊戯室を造ることになると思う。
- 法人) 普段はランチルームでそれをお遊戯室に使えたり、一部2階建てにするなど利用においては多機能的な使用を考えている。まだアイディアの段階だが、雨の日に遊べる広い部屋もあった方が良いと思っている。
- 保護者) 以前子どもを里保育園に預けたことがあるが、その時にお遊戯会は東山代公民館を借りて行っていた。大坪保育園はコミュニティセンターと講堂を共

用しているの、今後は里保育園のようになるのだと思った。

法 人) 大坪保育園は複合施設なので、今後保育園のお遊戯会と町民の文化発表を一緒に行っていくことになるのかもしれない。

保護者) 保育室の間にトイレがあるのはどちらからも使えるので良いと思った。手が触るところは木を使用しており、自然のものなので安心できる。

保護者) 今の牧島保育園の良いところは表と後の両方から保育室にアクセスできることで、大坪保育園は表だけからしかアクセスできない。今は変な事件もあるし、何かあった時は片方しか使えないとどうにもならないので、今の牧島保育園のように保育室には2つの出入口があった方が良く思う。

法 人) 今の話は防犯対策であるが、犯罪に及ぶかもしれない不審な人に対する防犯、天変地異など災害でのシェルター機能という防災の2つの対策をしっかりと確保できる施設を造りたい。

議 長) 他にはないか。

保護者) 送迎の車はこれまでと変わらないのか。

法 人) 園舎がもし道路側になればロータリーを造りたいと考えている。車での送迎が大変なので、園舎の位置により駐車場やロータリーを造るアイデアを持っている。

保護者) 朝の7時30分過ぎの時間、牧島保育園周辺は車がスピードを出し通っていく。

法 人) 先日、牧島地区の会議に出た時の説明では、造船所の従業員の車の後ろ側にはステッカーが貼ってあるのでそれで認識できるようである。最近このあたりの椿原に抜ける道路でスピードを出して通る車にはステッカーが貼っていないとある区長が言っていた。

保護者) うちの遅いから良いがかなり危ないと思っている。小学校に送る時にも保育園の前を通るが、やはりスピードを出している車がいる。

法 人) 安全を確保するため、駐車場の敷地を確保できれば良いが、できなければロータリーを設けスムーズに乗り降りができればと思う。

保護者) 芝生も良いと思った。

法 人) 最近は園庭も運動場ではないところもあるので、子ども達が走り回れるスペースを確保した上で、池や築山など遊びこめるスペースを造りたいと思っている。

法 人) こだわりのある園は、造園業者を入れ森や池、シンボルツリーとして市の木や季節ごとの木が植えてあるなど子ども達が遊びこめる環境になっている。

保護者) 幸い虫は沢山いるので、生かしてもらいたい。

法 人) 黄色スズメバチの巣を特定したので駆除をした。黄色スズメバチは雑木には巣を作らず、建物の天井裏か床下に作るが、牧島保育園では天井裏に作っていた。天井の間に穴が開いていて、そこから蜂が出入りしているのを確認

し業者に駆除してもらった。

議長) 夢のある話も含め多くの意見をもらいありがたい。またこのような機会を作りたいし、送迎時にでも伝えてもらいたい。

(3) その他

5 次回開催日について

令和4年11月30日(水)に開催することを決定

6 閉会